



「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

原料はすべて
自然由来です

新発田健康ファーム
高橋農園の
手作りジャム

600円税別
●ルレクチェ ●りんご ●桃

高橋農園
(新発田市横山1314)
TEL.0254-29-2287
http://takahashinouen.com/

ジャムやジュース販売中！
ご贈答に人気です。

しばた健康ファーム 検索



市歴史図書館で堀部安兵衛の直筆書状を見学

中央義士会が安兵衛訪問、 武庸会総会に花を添える

中央義士会の会員12名が、6月13日(金)に開かれた武庸会(たけつねかい)堀部安兵衛を顕彰する会(総会後の懇親会)に出席した。メンバーは中央義士会ほか、京都支部、赤穂支部、熊本山鹿支部、北海道など全国に渡る。

13日(金)は長徳寺の安兵衛の父弥次右衛門の墓にお詣りしたり、義士堂を見学した。義士堂では中央義士会を設立した福本日南の支援者頭山満の書を見つけて驚いている。

た。懇親会の前には中央義士会の柿崎輝彦理事長による堀部安兵衛の高田の馬場の助太刀に関する講演が行われた。参加者からは「敵方に味方した中津川祐見とは誰か」「大野九郎兵衛の仇討ち計画は事実か」など、多くの質問が飛んだ。

14日(土)は武庸会の案内で安兵衛ゆかりの新発田城を見学後、市歴史図書館で安兵衛の直筆書状を見学、鶴巻学芸員から丁寧な説明を受け、「達筆で、しかも几帳面な性格が見てとれる」「長いのに論理的な破綻がない」などの感想を漏らしていた。安兵衛の母の墓がある寺町の法華寺に立ち寄り、清水園の安兵衛伝承館を見学、最後に大倉喜八郎の蔵春閣で志まの弁当を楽しんだ。喜八郎は義士会出版部が大正9年に出した詩画集「義士大観」に狂歌(其の名さへ高田馬場に里いもの保里出されたる堀部安兵衛)を寄せている。また、中央義士会に所属する若手女性の東結菜氏からお礼の言葉とともに東京土産が武庸会に手渡された。四十七士を慕い、顕彰する組織は全国にある。関連する市町村では「忠臣蔵サミット」が開かれている。泉岳寺の赤穂浪士の墓には外国人の参拝者が増え続け、平日は日本人よりも多いという。「義理人情は世界共通」と言ったのはフランス人だったそうだ。

ハワイのオーナーたち オーガニックの田植え

5月20日(火)、オーガニックしばたで進めている田んぼのオーナー制度、昨年秋季の稲刈り体験に続いて、今年は田植え体験をした。今年の参加は16人だった。場所は市加治川庁舎前の「ささ農園」の5反程の田んぼ。参加者は最初順番に田植え機に乗って体験したが、最後は数名が手植えに挑戦、歓声を上げていた。

田植え体験後には昨年同様「ヘルスメイト」の女性の皆さんと一緒ににぎりづくりに挑戦、塩鮭や昆布、梅干し、たらこのを具材として握った。やはりどうしても大きくなってしまい、「あんまり大きいといくつも食べられません。せつかく具を4種類も用意したのもっと小さめに握って」と注意されていた。ヘルスメイトさんたちはごはんの炊き方がとても上手で大好評、おにぎりをお土産に持ち帰るハワイの参加者も多かった。

田植えをしている間、「ささ農園」では、近くの田んぼで除草ロボットに草取りをさせていた。人出不足をロボットで補っているのだ。オーナーの佐瀬鐵栄さんは「市の補助金で購入、本当に助かっています」と感謝していた。



ささ農園で田植え



ヘルスメイトの皆さんがおにぎりで接待

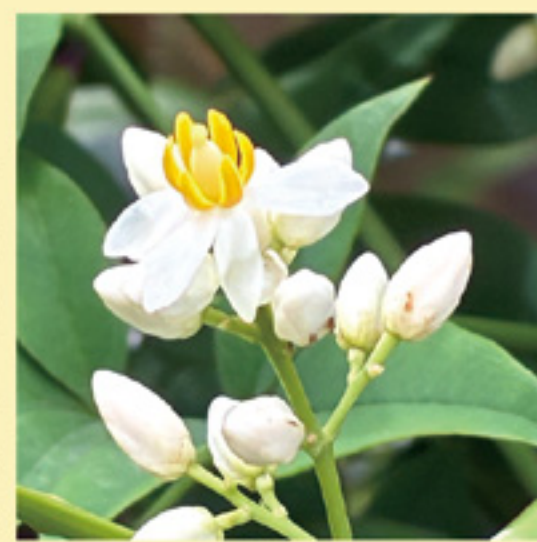


講演する柿崎輝彦氏

イタリアのベネデッティ大使の言う通りだ(本紙156号参照)。今後はSNSで発信するなど、若い人や世界へ向けての情報伝達が必要な課題になっている。

コラム

連想



倉敷に見つけた南天の花

念願だった倉敷の大原美術館を見てきた。外観だけでなく、展示物もじっくり見た。驚いた。エル・グレコは有名だが、ほかにもセザンヌやシャガール、ドガ、ゴーギャン、マチス、ミレー、モネ、ムンク、ピカソなど、印象派の教科書だ。日本画や近代の芸術、民芸作品もあった。とくに惹かれたのが河井寛次郎や富本憲吉、濱田庄司らの焼物だ。作品の収集数が多いので、作風の変遷をたどって、飽きない。富本憲吉の「白磁蓋付壺」の静謐さ、バーナード・リーチのデザインの花びらや色遣いの多彩さ、唯一無二である。大原美術館の開設者は倉敷の実業家・大原孫三郎である。熱心なキリスト教信者だった岡山孤児院の開設者・石井十次と出会ったことが、大原の人生を変えた。大原自身もキリスト教に改宗し、「事業で得た富は社会に還元する」ことを実践した。大正10年には倉敷労働科学研究所、大正12年には倉敷中央病院を開設している。▼してみると、何やら「啄木を世に出した」と言われる新発田市荒川出身の宮崎郁雨が半生を捧げた函館慈恵院を連想してしまう。▼函館慈恵院の設立の趣旨はやはり「富の恩恵は平等」との考えだ。太郎代浜出身の理事長・小熊幸一郎と専務理事・郁雨が、二人三脚で函館大火も先の戦争も乗り越った。▼大原美術館、また訪れたいと思う。

6月市議会一般質問で 4人がコメ作り支援訴え

6月市議会一般質問で4市議がコメ高騰対策として、コメ作り支援を訴えた。質問に立った人数は14人、かなりの割合だ。コメ高騰問題が、農業を基幹産業として捉える新発田市にとっていかに大きな問題か分かる。質問と答弁を抜粋掲載する。

生産コスト上昇分を米価に転嫁するのは当然だ(市長)

【渡邊喜夫議員の一般質問】

肥料や大農機が高騰している。意欲をもって営農が続けられる生産者米価は。二階堂市長の答弁

作り続け、買い続けられる米価実現のため、新発田市も農業者に積極的支援を(阿部)

【阿部聡議員の一般質問】
コメ政策そのものは国施策だが、市としても、持続可能な農業とするために積極的に支援が必要だ。市長の農業支援に対する姿勢と具体的な施策を問う。

【二階堂市長の答弁】

市は県内でも先頭を切って各種の支援をしてきた。新規就農者のためには市単独事業の「担い手育成総合発展事業」を継続的に実施してきた。物価高騰には機を逃すことなく5度にわたって支援してきた。今時点ですべて以上の支援策は考えていない。

コメの生産農家は高齢化と担い手不足という現状である(小坂)

【小坂博司議員の質問】

米価高騰はわが国のコメ政策の転換を迫っている。コメ生産者が意欲を燃やし笑顔となるような施策の転換を願う。営農支援の拡大で移住施策へ転換してはどうか。

【二階堂市長の答弁】

就農前は研修実施・年間150万円支給

の就農準備資金制度がある。就農後は経営開始3年目まで年間150万円を給付している。国の補助事業も充実している。

*

日米関税交渉にコメ等農産物をのせないでほしい。国に強く求めるべきだ(宮村)

【宮村幸男議員の質問】

食料主権をまもり自給率向上を図り、直接支払は無論、所得補償など農業所得向上は必須で、国に強く求めるべきだ。

【二階堂市長の答弁】

国は、水田政策を根本的に見直すことの方針だ。農業者の所得補償政策について、国の動向を引き続き注視するとともに、現行制度以上のさらなる制度の充実を国策として図っていくべきと考える。

議長に湯浅佐太郎氏 副議長に石山洋子氏

新発田市議会6月定例会に先立ち、5月22日(木)市議会議員選挙が行われ、新議長に湯浅佐太郎氏、副議長に石山洋子氏が選出された。ともに初選出。

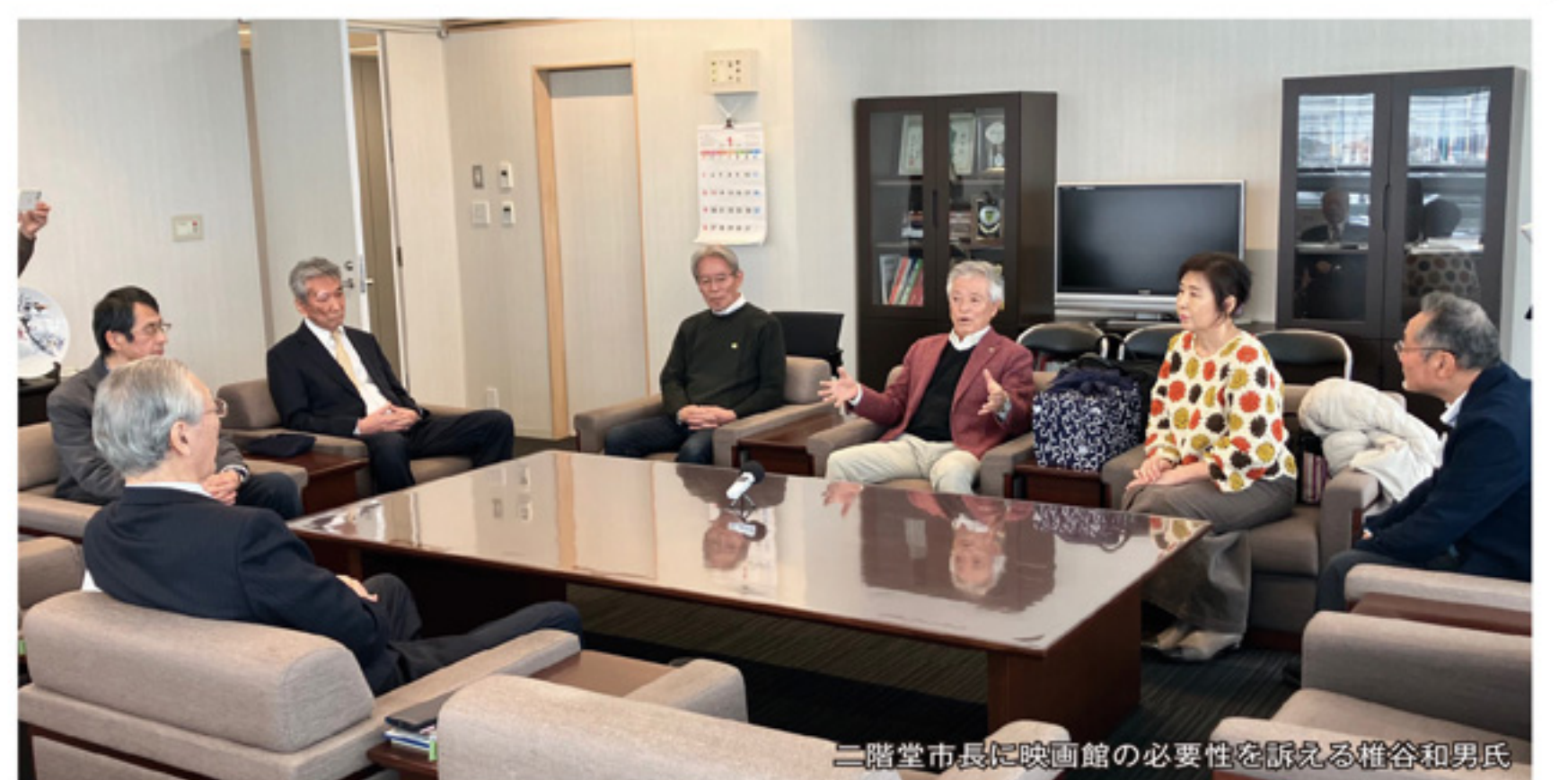
これに伴って各常任委員会の所属も決定された。基本的に2年で交代する。なお、各常任委員会、特別委員会などの構成は、次号に掲載する。

【湯浅佐太郎氏略歴】

市議(議会運営委員長、令和会、4期目)
新発田市松岡、日大卒。

【石山洋子氏略歴】

市議(広報公聴委員長、公明党、4期目)
新発田市板山、水原高卒。



二階堂市長に映画館の必要性を説く雄谷和男氏

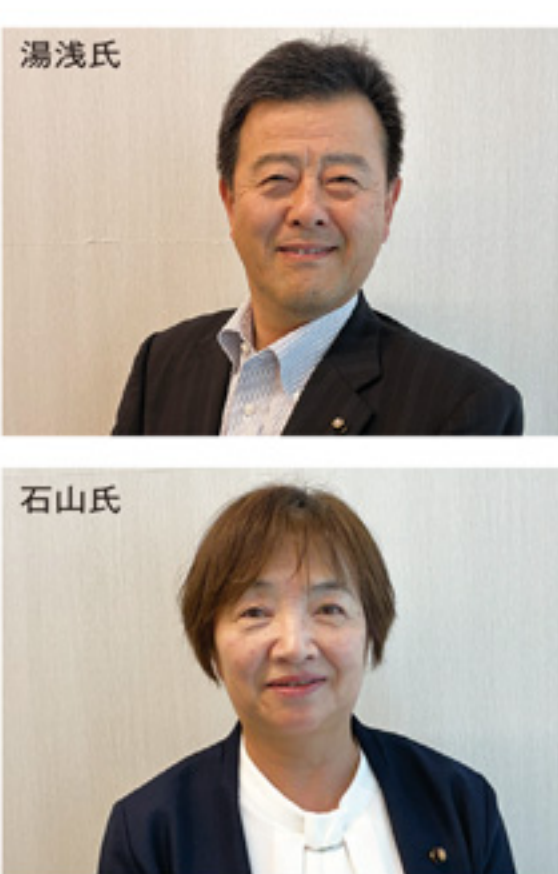
映画館をつくる会 署名1万1千超に

「新発田に映画館をつくる会」(代表権谷和男)は5月26日(月)に集めた署名3千810筆を伊藤副市長に届けた。先の1月31日に二階堂市長に届けた署名7千500筆と合わせると総数は1万1千310筆となった。

昨年11月8・10日に文化会館で上映された映画「十一人の賊軍」を機に大規模に開始されたもので2日間の上映会だけで670筆の署名が集まった。列に並んだ人に聞く「元氣な年寄りの行くところがないんだ」「新潟まで行くのはしんどいなど、切実な声が集まった。

署名は新発田市がほとんどであるが、県北全体からも集まり、隣県の小国町の人も署名した。小国町の人は新発田に買い物に来る人が多くて「商圏は新発田」なのだとか。

6月13日(金)の市議会で、二階堂市長は「引き続き粘り強く要望する」と発言した。



湯浅氏



石山氏

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長畑 284-1 TEL.0254-23-6851	介護老人福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800	(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3969 TEL.0254-22-2223
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	新発田ニユール プラザホテル 新発田市諏訪町 1-9-29 TEL.0254-26-3131	複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市諏訪町1-10-38 TEL.0254-24-1111	尾田建設 新発田市荒町甲 47 TEL.0254-22-4200
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711		
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	しばたパッカーズ(株) 新発田市奥山神保 427 TEL.0254-22-2334		
駅前竹内旅館 JR 新発田駅前真正面 新発田市諏訪町 1-2-1 TEL.0254-22-2465	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101		
SODデザイン 高橋智志 新発田市緑町 2-17-26 TEL.0254-24-5121	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011		
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000		
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191		
(有)クサカベモータース 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030		
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字鳥越 4666-1 TEL.0254-28-5136		
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700		
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL.0254-24-1761		

啄木を世に出した郁雨 新発田郷土誌53号掲載

石川啄木(本名・一)は「東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたはむる」「やはらかに柳あをめる北上の岸辺目に見ゆ泣けど如くに」「友がみなわれよりさうく見ゆる目よ花を買い来て妻としたしむ」など、分りやすい生活歌で一世を風靡した日本を代表する歌人だ。この度「啄木を世に出した人」と呼ばれる新発田市荒川出身の宮崎郁雨(本名・大四郎)の一生をまとった小論文が『新発田郷土誌』第52号と第53号に掲載されたので報告する。

第52号では主に啄木の北海道時代に焦点を合わせた。本紙でも数回にわたって掲載した。第53号では啄木が北海道を去って東京に出てからと郁雨が社会福祉事業に没頭した時期に焦点を当てた。この部分は初出が多く、ともに一読をお勧めしたい。同時に人に尽くすことを無上の喜びとした郁雨の生き方の理由を考えてみた。

*



石川啄木

啄木は明治40年に「石をもて追わるる」といふさとの浪民から新天地を目指して北の大地北海道は函館に着く。そのとき物心両面で援助の手を差し伸べたのは、新発田市荒川出身の宮崎郁雨ら、「首稽社」という短歌結社の若者たちだった。彼らは「鶴舎に孔雀が舞いおりたようなもの」「郁雨著『函館の砂』より」と熱烈に歓迎するともに、出来得る限り啄木と行動を共にし、仕事を世話し、夜は短歌会を開いた。啄木は「2年も休んでいた」「啄木の日記より」と書いたが、函館で再び短歌を作り始めたのである。郁雨の晩年の「心友」(郁雨からの手紙より)である阿部たつをは函館での「首稽社」の仲間との出会い、さらに函館へ札幌へ小樽へ釧路へ函館という北海道での約1年の



宮崎郁雨

放浪がなければ、そして啄木の母と妻と長女を郁雨が引き取らなければ、その後の啄木はなかったし、歌集『一握の砂』もなかった旨(記)している。

零落してあるさとの荒川から職を求めて函館に出た父竹四郎。父に連れられてきた郁雨は貧しかった。当時有料の公立小学校に行けなかった郁雨は授業料なしの慈善小学校・鶴岡学校に通った。それがどれほど有り難かったかは、郁雨自身が短歌に詠んでいる。

授業料納めでもよき学校に通いし三年忘れざるなり

その後郁雨は大正14年に慈恵院監事になった。「首稽社」以前から親交があり、郁雨の父の葬式では弔辞を読んでもくれた斎藤大硯の推挙によるものだ。慈恵院は養老・軽費医療・育児などを手がける社会福祉施設の先駆けで、現在は厚生院と名前を替え、北海道最大の福祉施設に発展している。



啄木郁雨歌碑除幕式。左から宮崎雅史、時田誠士、山下多恵子、尾田一雄の各士

郁雨は昭和6年に理事に就任、8年からは太郎代浜出身で函館財界の大家で理事長に就任した小熊幸一郎と共に度重なる財政破綻、函館大火、戦時中の物不足と医師の出征などの危機を乗り越えた。この時期の小熊の知略と郁雨の獅子奮迅ぶりは感動的である。『函館厚生院六十年史』や『小熊幸一郎傳』を合わせて読むことをお勧めする。原稿の多くは郁雨の短歌、郁雨から阿部たつへの手紙、郁雨の考え方は『風鐸』に掲げた郁雨自身の文を参考とした。

*

令和4年に城南ロータリークラブの手で荒川集落の松浦保育園に啄木郁雨の歌碑が建てられた。新潟市や盛岡市からもゆかりの人や啄木ファンが訪れている。有り難いことである。

最強! 荒牧陽子×松浦航大 歌まねジョイントライブ



8月31日(日) 開演 15時30分 (開場 15時)

新発田市民文化会館大ホール

全席指定 2,500円 発売 7月8日(火) ※未就学児入場不可

- 喫茶デンデン ●新発田市観光情報センター
- 健康長寿アクティブ交流センター「きやり館」
- 下越音楽鑑賞協会 ●豊浦地区公民館
- 紫雲寺地区公民館 ●加治川地区公民館

(注意)各地区公民館の販売時間は平日の8:30~17:15のみです。ご注意ください。

●セブンチケット(セブン・イレブン) セブンチケット購入サイトはこちら▶



ペアチケット 3組様 プレゼント! 本紙感想・住所・氏名・電話番号を明記の上、表紙左上の住所宛までハガキにてご応募下さい。※7/11(金)必着

新発田市民文化会館 TEL. 0254-26-1576 〒957-0053 新発田市中央町4-11-7



高木書店で発売中(新発田市大手町)

とんとん市場の 第2弾

20周年祭

開催期間 6/24(火)~29(日)

旬の野菜の特売あり!

楽しいイベントが盛りだくさん

TON TON

●新発田店 9:00~18:00
新発田市荒町1480
☎0254-20-2229

●松崎店 9:00~19:00
新潟市東区新松崎1-6-14
☎025-274-2229

板金折り紙教室

弊社オリジナルの型紙を使い、銅板・真鍮板で折り紙をします。初心者も大歓迎!!
ビカビカで金属の特性を活かした折り紙は見る人を驚かせる出来栄です!!

7月25日(金)・26日(土) ペンギン

次回予告 | 8月22日(金)・23日(土) ウサギ

時間 13:30~15:30 参加費 1,000円
定員 各日8名(申込み受付順) 持ちもの 手袋・内履き
場所 (株)シヤライズ2F(新発田市切梅618)
お申込み・お問い合わせ TEL 28-7183(担当:池田)

子ども板金教室開催! 8/2(土) カブト

職業体験レポート用紙・ミニカブトマグネットの特典付き♪(詳細は上記同)

さまざまな住まいのご相談承ります!

株式会社 シヤライズ

各種内外装リフォーム/建築板金(屋根・各種外壁・雨樋工事)・大工・土木・ブロック・遮熱・塗装・エクステリア・採光(スカイライントチューブ他)

〒959-2303 新発田市切梅618 TEL 0254-22-6015(代)

介護は、 いつかみんなが関わること

介護の知識と技術は、人生のどこかできっと役立つ。
その もしも に備えて、今学びませんか？

介護員養成研修事業

介護職員初任者研修 受講生募集

毎週

土曜日開催

初回 8月2日(土) 9:00～17:00

定員12名



介護は、学べば学ぶほど、人を想う力が深まる尊い仕事です。一步を踏み出すあなたを、私達が全力で応援！本講座では、介護職員初任者研修の資格を半年で取得可能です。

介護について学ぶ

介護施設への就職や将来の家族介護に備えて、実践的な力が身につきます。



ベテラン講師陣！

介護福祉士や看護師、介護支援専門員等、現役で活躍中の16名の有資格講師が学びを応援！



会場 陽だまり苑ふえりあ

受講料 35,000円
(税込み・テキスト代込)

研修期間 令和7年8月2日～12月27日
毎週土曜日 9時～17時まで

対象 通学可能な方であれば
どなたでもお申込みいただけます。

研修内容 ・介護における尊厳の保持、自立支援
・老化の理解 ・認知症の理解
・こころとからだのしくみと生活支援技術 他

申込方法 右記QRコードから または
お電話にてお申込みください。



社会福祉法人いじみの福祉会

陽だまり苑ふえりあ 総務課

〒957-0062

新潟県新発田市富塚町2-4-13

☎0254-20-8283



「夏ざかり」

日本の現代美術の最前線で活躍する切り絵画家。大学の建築科在学中に切り絵を始める。産経新聞や朝日新聞での旅紀行の連載、雑誌の表紙絵、郵便ふるさと切手や年賀はがきなどに作品が採用される。2009年には文化庁文化交流使に指名され、ニューヨークを拠点に、また、日本文化紹介派遣事業でスペイン、ポルトガル、ロシア、キューバなどで、切り絵を通じての日本文化を伝える活動を行う。2011年、NHK「あなたもアーティスト」ではシリーズで切り絵を紹介。日米桜寄贈100周年記念事業として、ニューヨークのエンパイアステートビルにて作品を展示するなど、国内外での個展開催や作品集の出版など、多忙な日々を送っている。

久保修
KUBO Shu
切り絵の世界展
紙のジャポニスム



2024年
外務大臣表彰受賞



左から「明石鯛」、
「晴れの日」、
「京の町家」

2025年 7月8日(火)ー9月28日(日)

開館時間／午前9時～午後5時(入館券の販売は午後4時30分まで)

休館日／月曜日(但し、祝日の場合は開館し、翌火曜日を振替休館とさせていただきます。)

入館料／一般・大学生550円(有料入館者20名様以上は団体料金440円)
高校生230円、小・中学生120円

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付で手帳をご提示ください。)

主催：新発田市、新発田市教育委員会、路谷虹児記念館 協力：株式会社アートプリントジャパン

路谷虹児記念館

〒957-0053 新潟県新発田市中央町4-11-7
電話&FAX 0254-23-1013(直通)

令和7年度
夏季企画展

「続縄文」と呼ばれる新潟で発見された北海道系の土器や新発田と北海道をつなぐ人物として、江戸時代に北方の情報を集めた藩主や学者。アイヌの人たちを伝染病から救った南方医、函館で石川啄木との友情を深めた歌人や「サッポロビール」の創設に寄与した実業家など、様々な視点から「北を向く越後人」を紹介いたします。

令和7年 1階展示室・入場無料

7/1[火]～9/23[火・祝]

開館／9時～17時

月曜休館(月曜日が祝日の場合はその翌日)

●ギャラリートーク(当館職員による展示解説)

日時／7/12(土)、8/2(土)、9/2(土)
11:00～11:30 終了予定 13:30～14:00 終了予定
(但し、8/2(土)午後は講演会終了後に実施)
※事前申込不要。当日1階展示室へお越しください。

●歴史講演会「漆器とアイヌ民族」

講師／浅倉有子氏(上越教育大学名誉教授)

日時／8/2(土)13:30～15:00(受付13:00～)

場所／歴史図書館 2階 会議室

定員／50名(先着順) ※参加費無料

受付／7/1(火)～8/1(金) 電話か事務室まで

新発田市立歴史図書館 新発田市中央町4-11-27 ☎0254-24-2100